

## 知っとく情報

## もしも…水道管が凍ってしまった時の注意点!!

- 絶対に熱湯を直接かけるのは止めて下さい!! (熱膨張で破裂の原因になります。)
- 凍った蛇口を無理やり回さないで下さい!! (蛇口の中の金具が破損する恐れがあります。)

- ☑ 水漏れしてしまったら無理せずプロの水道業者さんに修理を依頼しましょう!

## ① 慌てないで! まずはどこが凍ったか探そう!

一番多い凍結箇所は、水道の蛇口や給水管などが「むき出しになっている所」です。その場合は箇所近辺をファンヒーターやドライヤーなどで暖めます。ここで業者さんと呼んでも対処法は同じなのです。ゆっくりと溶けるのを待つしかありません。室内を暖めるのも効果的です。ですがいずれも解決しない場合は外の水道管が凍結している可能性が高いです。(最近のお家は水道管が床下や壁の中を通っている事が多く、家の中の水道管はほとんど凍結しませんが…) 外の水道管を見つけたら、箇所近辺にタオルを巻きつけ、上からぬるま湯(40℃前後)をゆっくりとかけましょう。

やってしまった!! 水道管の凍結!!  
もしもの時の対処方法!!

冬と言えば降雪の心配もありますが、その他にも困るのが気温が下がることによる凍結です。(;||´д`)ノキメテ! そこで、今回はちょっと!? 早いかもしれませんが「備えあれば憂いなし!」ということで、冬に起こりうる“水道管の凍結”についてお話しさせて頂きたいと思います。どうぞ参考にされてみてくださいね(・v・)ﾉ♪

ポイント 寒波が予想される日の前日は、水道管に保温材を巻くなどの対策を!

ペットボトルを凍らすとバンバンに膨らむ様に、水道管の水も氷ることで膨張し、水道管が割れたり破損してしまうことがあるのです。



## ② すでに水漏れしている場合は? 対処法はただ1つ!!

どんな場合でも対処法はただ1つ!“水を止める!”こと。焦らずにまずは水を止めましょう。水道には必ず“止水栓”という栓が存在します。止水栓にはハンドルで閉めるタイプとドライバーで閉めるタイプがあり、固くなっている場合もあるので、潤滑剤とドライバーを準備しておきましょう。お湯と水で配管が分かれている場合には両方の止水栓を閉めましょう。



## 水道管を凍結から守ろう!

“冬本番”前に点検を!  
普段からのチェックが鍵!

もしものために、普段から水道管がどこを通っているかを確認しておくといいですね。凍結したら、まずは破裂や破損がないか確認し必要に応じて修繕をお願いしましょう。

